

おもな内容

- ▶ 日本学校保健会機構改革案検討の経緯について
- ▶ 全国学校保健研究大会に於ける行事のあらまし
- ▶ 第24回全国学校薬剤師大会
- ▶ 最初の学校医(1)
- ▶ 校長先生の訓話(6)
- ▶ 養護教諭のひろば(4)
- ▶ 文部大臣表彰を受けた功労者学校・団体
- ▶ 離島の学校歯科等に功績を残した亀沢女史をしのぶ
- ▶ 保健会だより(7)

The School Health (No.105)

昭和50年1月1日発行

学校保健

(隔月発行)

発行 日本学校保健会

可児 重一

東京都港区芝西久保明舟
町20第18森ビル2号館8階

電話 (501) 3785

振替口座東京 98761

頒価 1部80円(送料共)

財団法人 日本学校保健会会報

日本学校保健会機構改革案 検討の経緯について

1. 昭和48.5.15理事会において機構改革検討委員会が設置され、委員会は財団法人日本学校保健会寄附行為第32条(この寄附行為は理事会および評議員会の議決を経、かつ文部大臣の認可を受けなければ変更することができない。)にもとずいて検討をすすめた。
2. 昭和48.6.20改革に関する加盟地方学校保健会の意向をアンケート調査した結果、日本学校保健会は、自主性を強化すべきだとの要望が強かった。
3. アンケートの結果をふまえ、財団法人日本学校保健会一本で、全国地方学校保健会の連合会的の活動と文教施策に対する協力とを調和的に行なうこととした。
4. 昭和48.9富山市の評議員会において「財団法人日本学校保健会は、地方学校保健会の総意を結集するよう連絡提携を密にし、その活動内容を充実する。同時に日本学校保健会は、国庫補助金による学校保健センター的の事業を行なう。」という機構改革の基本方針が決定された。
5. 昭和49.3.31東京において評議員と地方学校保健会会長との合同会議が開催され
 - I 昭和48.9の評議員会で議決された基本方針の再確認
 - II 会長の諮問機関として職域別委員会の設置
- III 経営上の原則的考え方として
 - イ 一般庁費は基金から生ずる果実その他で
 - ロ 学校保健センター的の事業の経費は国庫補助金で
 - ハ 加盟団体を支援する活動の経費は加盟団体の醸出金で
 支出することを承認した。
この会議の出席者から改革についての意見をメモした紙片が集められた。
6. 以上の手続きがふまれて改革原案が作成され、昭和49.7全国評議員および地方学校保健会会長あてに配布され、8月中旬メ切りでそれに対する意見が求められた。
7. 改革原案に対する地方から集まった意見を検討して改革案がまとめられ、昭和49.9.20機構改革委員会案として会長に答申された。
8. 会長は委員会案を昭和49.10.18理事会で審議し、機構改革理事会案に仕上げた。
9. 昭和49.11.8の評議員会で機構改革理事会案を審議し、議決された。
10. 前記の通り役員会などいくつかの段階を経て慎重に検討されたので、日本学校保健会寄附行為一部変更の手續をふむよう準備を進めている。

新春をお祝い申し上げます

学校保健の一層の進展を祈ります。

昭和50年元旦

会長・理事長 東 俊 郎

役員一同

全国学校保健研究大会に於ける本会の行事のあらまし

日本学校保健会評議員会

と き 49.11.8(金)午前9:30~11:30
 ところ 宮崎国際会議場
 出席者 44名(内委任状3名)(会議成立)
 次 第 1.開会の辞
 2.会長のあいさつ
 3.会務報告
 4.議 事
 (1)昭和48年度 収支決算報告 承認
 (2)昭和49年度 収支予算(補正) 議決
 (3)財団法人日本学校保健会寄附行為一部変更について 議決
 (4)昭和50年度事業ならびに予算について
 次回の評議員会に提出することです承

昭和49年度

全国都道府県・指定都市学校保健会 合同協議会

と き 49.11.9(土)午後4:00~5:30
 ところ 宮崎国際会議場
 出席者
 次 第 1.開会のあいさつ 宮崎県学校保健会長
 内 田 醇
 2.会長あいさつ
 3.議長団選出 富山県・宮崎県・埼玉県

4.前年度要望に関する報告 富山県
 5.協議題および提案者
 (1)学校保健会活動を活発にするための方策
 について
 1)日本学校保健会と加盟団体との連絡の
 緊密化 (富山県)
 2)学校保健会活動の充実と財源確保
 (沖縄県・山梨県・奈良県)
 3)都道府県保健会と学校保健センター活
 動 (神奈川県)
 4)研究の奨励と発表物の顕彰(北海道)
 (2)健康診断実施上の問題について
 1)大学受験時に於ける実施の簡素化
 (神戸市)
 2)診断票の改正 (東京都)
 3)私立学校に対する経費の助成
 (鹿児島県)
 4)備品費の補助 (沖縄県)
 (3)養護教諭の養成配置について
 (東京都・沖縄県)
 (4)保健主事の地位待遇の改善について
 (新潟市)
 (5)学校医・学校歯科医・学校薬剤師の手当
 の増額について (沖縄県)
 (6)学校保健の目標刷新について(大阪市)
 6.閉会のあいさつ 宮崎県学校保健会副会長
 新 坂 真 一

第24回全国学校薬剤師大会

第24回全国学校薬剤師大会は11月8日午後2時から宮崎市瀬頭町のひまわり荘大ホールに於て、健康・安全な学校環境作りの中で(たくましい体と豊かなころ、すぐれた知性をもつ児童・生徒を育成するにはどうしたらよいか)の主題のもと、学校薬剤師の組織強化と学問、技術の向上をはかり、以て学校保健の推進に寄与することを目標に、全国各地からはるばる参加した満場の会員によって盛大に開催された。

開会式 田上宮崎学薬副会長の司会で児玉宮崎学薬会長の開会の辞、永山日学薬会長、平部宮崎県薬会長のあいさつ、文部大臣代理吉田専門職員、小森宮崎県副知事、近藤日薬副会長、県教育長、宮崎市長等の祝辞を以て終了。次に芥田宮崎学薬理事の司会のもとに表彰式を挙行、森副会長の日本学校薬剤師会賞審査経過報告の後、下記10名の本年度受賞者へ表彰状、河合賞、記念品を贈呈した。飯森関男、市川時治、長篤文、貝川一男、佐藤新太郎、中原健、間貞敏、長谷川安男、本間正一、矢島藤太、続いて昨年度大会後の会員の受叙勲者、藍綬受章者の紹介と記念品の贈呈、本年度文部大臣賞受賞者および団体の紹介と日薬会長からの記念品の贈呈があり、なお本年本会相談役に推薦された深谷義雄、橋爪鶴楠、早川政雄の3氏が紹介され、最後に来年度大会開催県の埼玉県学薬会長小泉勝彦氏の

挨拶があつて式を閉じた。

シンポジウム「学校に於ける緑化について」は岩井副会長の司会で開始されたが折よくその時出席されたこの緑化問題の責任者である文部省の倉地学校保健課長のあいさつを兼ねた説明によって盛り上がり、川畑高鍋高校教頭、甲斐恒富中学保健主事、白男川鹿児島県学薬会長3講師の討論も白熱し予定の時間を越えたが、森本宮崎県林業指導課主幹の適切な助言を以て終了した。

特別講演「学校環境衛生上の諸問題」講師の日本大学理工学部教授沢村良二先生は現在差し迫っている学校環境衛生の問題点として第一に近く決定される国の学校環境衛生実施基準をめぐる問題点を挙げて会員の注意を喚起し、次いでむづかしい公害と学校薬剤師との関係、続いて医療、健康保険、医薬分業などの薬剤師職能と学校薬剤師の勤務に関して論じまことに適切な講演であつた。

懇親会 特別講演終了後会場を移し、児玉宮崎学薬会長の挨拶で華やかに開会、アトラクション高千穂夜神楽の熱演後、東日本学校保健会長、黒木宮崎県知事等来賓の御挨拶もあつて9時近くまで全国各地を代表する会員のなごやかな懇親風景が続き来年の大会での再会を約して散会した。

学校保健史ノート(1)

最初の学校医

杉浦守邦(山形大学教授)

わが国で初めて、公立学校に学校医を置くという法令が、勅令の形式で公布されたのは、明治31(1898)年1月のことであるが、実はそれより前に既に各地で、独立して学校医を設置する動きが現われていた。

最初に学校医を置いたのは、東京市麹町区である。明治27(1894)年5月のことであった。名称は学校囑託医と呼び、手当金は1ヵ月1人3円で、1ヵ年分計108円の支出を区議会ではかっている。囑託は区長が行なうこととしていた。

囑託医の職務心得として次のような事項があげられている⁽¹⁾。

第1条 囑託医は毎週1回以上学童及幼稚生の健否を点検し特に伝染性諸患(6種伝染病並に疥癬、百日咳、猩紅熱、麻疹、化膿性結膜炎等)に注意すべし

第2条 囑託医は伝染病流行の傾あるときは校長と商議し其の予防の方法を論説すべし

第3条 校内に於て遊戯等の過失に由て生ぜし外傷、その他疾病は一時之が手当をなすべし

第4条 学童・幼稚生に欠席者あるときは時宜に由り其の理由を調査することある可し

第5条 校内一般の衛生上に注意し意見あるときは校長又は区長に通告す可し

一読して、明治31年の学校医令および学校医職務規程と大差のあることが知られる。すなわち職務規程では、学校医の任務の重点を環境衛生と定期身体検査にしているが、この東京市麹町区の規則では、環境衛生には全然ふれず、救急処置や疾病治療を課している点に相違がみられる。

次いで同年7月、神戸市でも市長の発意により、神戸・兵庫・湊川の3小学校に学校医を置いた。囑託医

員と称したが、その職務要領は次のようなものであった⁽²⁾。

1. 毎月1回乃至3回は必ず学校に出張し学校衛生に注意し、若し児童の傷痍を受け又は疾病に罹りたる者あるときは速に施術治療を為すこと
2. 6種伝染病流行時に際せば、前項の出張度数に係らず時々出校して診察をなし、其予防消毒法等は校長と協議の上懇切に指示訓諭を為すこと
3. 前項に関し自己の所見又は急報を要する事柄は直に市長に申告し、其他通常の取扱は毎年度末に其大要を報告すること

この場合も東京市麹町区と同様、応急処置等、要するに医療上の任務を要求していて、環境衛生にはふれていない。

なお神戸市の場合は、最初に囑託された医師の氏名がわかっている。神戸小は片山正義、兵庫小は宮城雄次郎、湊川小は横山元治で、いずれも明治27年7月1日付で囑託されている⁽³⁾。

県内の公立学校全部にいっせいに学校医を設置することを定めたのは山形県が最初である。明治28年2月「市町村立学校医設置に関する件」の訓令を発した。この場合の職務は、1.教室内の採光換気及暖室、2.机腰掛及塗板、3.児童身体の発育、4.飲料水、5.教室周囲の掃除、6.伝染病の予防、7.校地の選定及校舎の新築増築、8.疾病児童の上校停止などの調査を行なうこととし、毎月1回以上の上校を求めている。環境衛生を重視しており、明治31年の学校医職務規程の先駆となったものといえよう。

文献(1)教育時論 327号、p.32、明27.5.15

(2)大日本私立衛生会雑誌 134号、p.619、明27.7

(3)神戸市教育史1巻 p.294、昭41.3

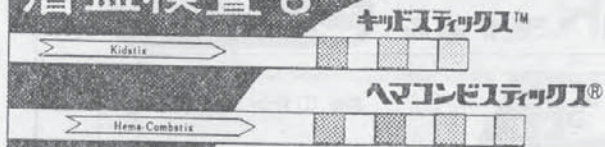
肉体疲労時の栄養補給

滋養強壮に

ポポンS錠

シオノギ製薬

学童の集団検尿には
潜血検査も



製造元:エームス事業部 販売元:三共株式会社
マイルス・三共株式会社



日本学校保健会推薦品

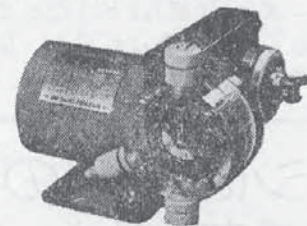
Nフィーダー

塩素減菌機として

始めて日本学校保健会推薦品

となりました

(定量注入ポンプ)



CS-100型

定量性・耐久性ともすぐれ保守管理はだれにでも容易にできます。

学校のプール
・飲水の塩素減菌にご利用下さい。

日本フィーダー工業株式会社

大阪事業本部 大阪市南区末吉橋通2丁目7番地
第百生命ビル7階 TEL.06(271)3771代
東京支店 TEL.03(931)5361・札幌出張所 TEL.011(752)1872
名古屋営業所 TEL.052(962)0721・福岡営業所 TEL.092(431)7536
広島営業所 TEL.0822(28)7320

校長先生の訓話(6)

歯みがきは文化人のバロメーター

東京都荒川区立荒川第十中学校長
浦 野 總 一

今日は「歯みがきは、文化人のバロメーター(尺度)である」ということについて、お話ししよう。

1. 歯についてのいやな経験はないか

最も身近かに感じ、たいせつな器官は歯ではないかと思う。それは諸君たちも多くの経験をもっているだろうと思うが、食事をしたあとで、食物が歯の間にほんのわずかにつまって何ともいえない、いやな圧力感を歯ぐきを感じ、身にひびいた事はないだろうか。又例えば、スルメやタラの一片が歯にはさまって、取れず、舌にさわって口の中の感じが何となく気色わるいので、夢中でヨーシや針でほじくった事はないかな…若い時は少ないがね。

更に虫歯で歯ぐきがはれた時や、虫歯が痛い時などは、どんなに美味しい御馳走も食べる気がしないだろうし、口に入れるのも恐ろしく思うだろう。腹が空っては戦にならないから、いやいや食事をするようになる。

歯の健康な人、もちろん歯ならびのよい人は、こんな不愉快な、つらい経験をしないであろう。幸せなことだ。しかし一度歯を悪くすると、自分はどうしてこう歯が悪いのか、弱いのかといらだちを感じるようになるものである。

2. 虫歯(歯)について

小さい時はよく「みそっ歯」をしている子供を見かける。これはよい事ではないが、乳歯は抜けるので気楽かもしれないが、諸君の年齢では大部分が永久歯なので、その歯を死ぬまで、使わなければならないのだから、たいせつにしなければならぬのである。歯を折ったり、お医者さんでくずれれば、永久に元にもどらない。再生能力がないのである。

いったい、人間の体は成分的には、いつまで同じ体を保っていられるだろうか。自分の今もっている肉体は、呼吸をしたり、尿を排出したり、垢を出したり、汗をかけば、次第に新陳代謝作用によって変化していく。それを食物で補充したりして、新しい肉体を構成しているものである。筋肉はわかる気がするが、この硬い骨や歯までが、半年に一回位ずつ、入れ変っているそうである。そのメカニズム(仕組み)はどうなっているかわからないが、新らしくできる歯にしても、虫歯はそのまま残っていくのである。

虫歯ができ易い場所は、歯肉と歯との境目あたりと聞いている。つまり食べたものが、歯の根元について歯を磨いても仲々清潔にならないので、やがてそれが歯垢(歯のあか)をつくり、そこに細菌が巣をつくって虫歯をつくることになるようである。時にはそこから歯肉炎を起したり、歯槽膿漏になったりすることもある。であるから、虫歯を防ぐには、先づ食物の残りかすをよく取り除く必要があるわけである。

それ故に、何としても、よく歯を食後にみがいて、歯の間の残りかすを取り去る必要がある。せめて毎食後に口をすすぎ、口の中を清潔にする位は心がけなければならない。日に一回歯をみがくのならば、寝る前によく磨く方が、朝よりはよいと私は考えているし、口をすすぎは毎食後に実行している。

3. 歯と文化人について

野生の動物は虫歯で悩むことはないのだろうか。猫や犬にしても、肉食獣は犬歯ばかりで虫歯になりにくいし、草食獣の牛や馬については、少し虫歯があるやに聞いているが、人間の比ではない。人間にのみある虫歯は、生活の文化的な仕方と関係があるようである。虫歯が文化人を作ったというのではなく、文化的な生活には、虫歯になる深い関係があるというのである。例えば砂糖の消費量が多いと虫歯になり易いとか聞いた事、お菓子を多く食べる子供に虫歯が多いということは、生活の仕方と関係が深いことである。アフリカや南方民族に虫歯が少ないことも、その生活の中に原因があると思う。

虫歯を作らない要因には、食物の方ではカルシウムを食べ、甘い物を少なく、日光によく当たってビタミンDを体で作るとか、歯をみがく、生活の時間や行動を節制してきちんとするなど。又、近頃の公害問題も生活環境を悪くしていく。つまり真の文化的な生活は、虫歯を作らない生活であるが、一般的に生じかな文化は、かえって虫歯を作る文化になるのである。

米国のケネディー大統領の一家は、歯みがきを組織的に徹底し、生活を引きしめたといわれている。歯みがきを通して生活時間を守り、衛生的な生活習慣を身につけたということである。文化的な生活を送るための条件に歯みがきを入れたいものである。

4. 本校と歯の衛生活動

本校の歯の衛生について、5ヵ年間も連続して優秀校で表彰されているが、これも講習や父母、学校と全体が歯と生活について協力し合っているからである。本年は歯みがきと歯肉炎との関係について研究しているので、一層口腔内の清潔につとめ、よい資料を得て、自分の文化的な生活の確立につとめてほしい。歯は「天性の白い宝石」であり、歯みがきは、文化人の教養であり、バロメーターである。

歯ブラシはお口のサイズに合ったものをお選びください **バネット** **ジュニア**



100円

ライオン歯磨株式会社

養護教諭のひろば(四)

学校保健の現状と展望

神戸市養護教諭研究会会長

近藤文子

我々20世紀の後半に生きていくものは、組織化された社会機構の中で個としての人間というよりも、機械の部品のような取替え自在なものとして存在しており、環境を考えてみても、超過密な都会生活、コンクリートジャングル、その上食品の汚染など、どれをとっても解決に長期の展望を要する問題の中で生活している。

また、各地で問題になっている海水の汚染など、人間の健康第一であらねばならないのに無視されていた状況、注射のため足の曲らなくなった子ども達、どこから手をつけていいのかわからないような、我々を取りまく社会、それに対してなすすべもない私達は、ややもすると無力感にとらわれがちである。とりわけ、児童、生徒の健康を取り扱い、常に接している私達養護教諭は、このような社会状況を把握して更に学校保健の取りくみについて悩まないではいられない。しかも毎日のように目まぐるしく変っていく社会、少々の事件のことで驚かなくなり、PCB汚染も忘れ去って平気で食事をしている私達、この状況の中での学校保健の展望は、これからも変化しつづける社会に於ても相い通ずるものでなければならぬと思う。そこで

1. 養護教諭の姿勢として

まず私達ができ得ることは、長期にかけて考えることが必要で、つまり、教育活動の中で、保健教育、保健指導を行なっているが、その生徒を対象とするだけでなく、生徒をとおし、次代の人を教育することを念頭におくことであり、10年、20年の計画だけでなく、長い単位で親から子へ、子から次の子へと譲り渡すものだと思う。以上のことは教育そのものの本質と言えるものかも知れないが、例えば、子ども達に人間の健康が、どんなに環境と切り離せないものかを学校生活で自然に教育すると、成長して、我々の次の世代になった時点で、企業に取っても公害に取りくむ姿勢が少しは変化するかもしれないし、周囲の人も許さなくなっていくことだと思う。これは地道なことで、皆が一步、一步、歩いて行く方法しかないものだと思うし、個人の人間性そのものが試されていくことになるだろう。まず、自分自身の姿勢を正した後に行うことであって子ども達は、これが教育だと、行なうのよりも日

常の我々の行動の中から、なにかつかみ出し、また次の世代へと、譲りわたしていってくれるものだと思う。つぎに

2. 実践にあたって

我々は児童生徒との関係、また教師の中に於ても、保健室とは、病気になって手当をしてもらう部屋であるという考え方を改めさせ、まず、病気にならない時に、健康相談(精神疾患についても)するところであって、くすりの無料配布所のような考え方を一掃しなければならない。学校では、頭脳のトレーニングは他の教師であるが、精神及び肉体の健康については、保健室で相談し、健康な生活ができるようにすることを指導してもらえるところであるという考え方を徹底していなければならない。しかし現状では、徹底しているはずの教師に於てさえ、理解度は十分といえない。そこで、私達養護教諭は、自分の行なわなければならない立場を認識した上で、さらに、私達の専門的な知識も常に貯えると同時に、専門職であるという立場を明確に把握しなければならない。

3. 現状からの考察として

以上の2点を考慮に入れたうえ、具体的に、父兄や学校医、教師全員の協力のもとに実施したものが、本年度の健康診断であった。計画、実践についても、全組織を活用し行なったが、各自の理解も十分とは言えない。活用するのは、まだまだ、これからという現状である。父兄にとっても、自分の子どもの健康の状態を把握するという努力も少ないように思われる。また教師集団も従来どおりの検診に思いがちである。ここにも我々は、地道に、父兄、校医、教師への理解度も深めていくと同時に、この現状を知らしていくよう行動しなければならない。

今の現状をだいたい把握したうえでいえることは、他から何をしてもらうかということよりも、まず自分の立場を再び見つめなおす時期に来ているのではないだろうか。今では、しゃにむに保健の知識を与えることに努力していたが、もっと根本にあるもの、つまり、健康とは何か、を児童生徒にも正確に把握させ父兄、教師、児童生徒三者の協力のもとに管理していかなければならない管理者としての役割を担っている。

言葉にすると、簡単なようであるが、たとえ坐折の連続であろうとも我々は地味な努力を続けなければならない。つまり、社会環境の目まぐるしさ、複雑さ、それらがますます健康維持を困難にさせている現状において、私達のどん慾なまでの知識慾の上に立った健康観の普及が要求されているのである。

(神戸市立丸山中学校養護教諭)

大腸菌群簡易試験紙

バクテスター1号

日本学校保健会推薦品

面倒な大腸菌群試験が誰にでも容易にできます。学校保健における衛生管理、汚染調査、児童の環境衛生観念の普及にご利用下さい。

バクテスター1号 専用 培養器 バクテロン[®]-37

本器は特にバクテスターNo.1(大腸菌群簡易試験紙)用に設計されたもので、消費電力もわずか6wで、電子回路により制御されておりますので、温度保持は正確でその上極めて安全です。



関東化学株式会社

東京都中央区日本橋本町3-7 TEL03-279-1751

文部大臣表彰を受けた功労者・学校・団体

第24回 全国学校保健研究大会開会式場において

◇◇学校保健関係◇◇

◆学校医 (28名)

佐々木浩吉(岩手県立沼宮高)松山京子(宮城県金ヶ瀬小)伊藤四郎(秋田県立大曲農高)菊地匡(山形県溝延小)石川寿彦(土浦市立土浦小)畑中正雄(群馬県松井田中)門倉好文(深谷市立藤沢中)桜井義也(千葉市立幸町一小)古川喜代重(大田区立大森八中)大久保福信(熊本県御所小)多賀重治(岐阜県表佐小)安部孝之助(三島市立北小)桜井正義(姫路市立英賀保小)米田明正(榎原市立晩成小)岩橋清(和歌山市立西和佐小)迫井忠(広島市立中島小)井上節斎(徳島県羽浦小)福島義一(徳島市立加茂名小)田中忠雄(福岡県立糸島高)中村正直(佐賀県呼子小)山本了(佐賀県川副中)竹内竹三(日南市立細田小)内田実(鹿児島市立甲東中)稲福盛輝(那覇市城西小)滝邦彦(富山県大久保中)柳沢文秋(長野県立上田高)原田龍夫(大阪府立桜塚高)宮崎登(宮崎県都農東小)

◆学校歯科医 (20名)

小阿瀬敏治(札幌市創成小)板垣正太郎(弘前市立時敏小)大塚禎(宇都宮市立横川西小)咲間武夫(町田市立忠生二小)新村三郎(小田原市立国府津中)鳥田余三男(富山県小杉小)清水忠躬(塩尻市立塩尻東小)酒井隆(名古屋市立六反小)岩崎博(鈴鹿市立稲生小)伊藤正二(京都府常吉小)内海潤(大阪市立聖賢小)本多敬男(神戸市立木津小)桜井二郎(岡山県立和気閑谷高)高橋董(高知県葉山小)上田寛(福岡市立奈良屋小)毛利彊(大分市立滝尾小)園田健雄(都城市立南小)大沢弘(越ヶ谷市立越ヶ谷小)森田錨之亟(川崎市立南河原小)宮井伸造(徳島県日本聖公会信愛幼)

◆学校薬剤師 (5名)

森宗武(豊島区立長崎小)山本総作(愛知県立碧南高)戸谷一郎(大阪府立清水谷高)坂井透(佐世保市立旭中)藤本磯男(熊本県大津中)

◆養護教諭 (4名)

野田いそ(東京都立片浜養護)深野二美(横浜市立西前小)織田愛子(滋賀県立八幡高)中本タカ子(京都市立西院中)

以上57氏に当会より銀杯を贈った。

◆学校 (10校)

岩手県陸前高田市立高田小・福島県岩瀬村立白方小

・群馬県立富岡東高・長野県上田市立西塩田小・島根県松江市立本庄小・山口県徳山市立徳山小・香川県津田町立津田小・愛媛県重信町立重信中・山形県遊佐町立遊佐小・岡山県瀬戸町立江西小

◆団体 (6団体)

宮崎県歯科医師会・道北地区へき地学校保健研究会・上越市学校保健会・金沢市学校薬剤師会・福井県学校保健会武生市分会・三重県鳥羽市学校保健会
以上16団体には当会より記念品を贈った。

学校保健用品 推薦公告

1. 子供の病気全書(毎日ライフ臨時増刊)

毎日新聞社出版事業本部

学校保健用品推薦更新 11月~12月

1. ユニチャームナップサワヤカ

ユニ・チャーム株式会社

2. 救急用人工蘇生器 レスバック

株式会社杉山元理器

3. ビタドールゼリー

林兼食品工業株式会社

学校保健の動向—昭和48年度版—

昭和48年度版「学校保健の動向」の残部が少々ありますので、一冊、実費400円(送料160円)計560円をお送りくださればお願いたします。

〒105 東京都港区芝西久保明舟町20

財団法人 日本学校保健会

◆おことわり◆

第104号のユニ・チャーム(株)の女子生理教育用カラースライドの定価が誤っておりましたので訂正します。 正⇒9,500円 誤⇒95,000円

● 女子生理教育用カラースライド

日本学校保健会監修

カラーオートスライド (66カット・15分、録音テープ、台本、マニュアルつき)

「いつものあなたでいるために」

— 月経の知識と正しい手当て —

■内容

月経の仕組みとはたらきを中心に、月経時についての考え方や生活管理の方法をわかりやすくまとめてあります。

■定価 9,500円

無料でもお貸しいたします。お申込みまた、使用上の詳細については、下記へ、お問合せ下さい。

東京都港区高輪3-25-23
ユニ・チャーム株式会社
TEL 03 (449) 1555(代)

離島の学校歯科等に功績を残した亀沢女史をしのぶ

東京都学校歯科医会会長 関口龍雄



学校保健を生涯の仕事として、縦横無尽に活躍していた亀沢シズエ先生が、去る6月13日心不全のため永遠に帰らぬ旅路につかれてしまった。

先生とは25年の永い間ご交際をいただ

いてきたが、先生が東京都学校歯科医会会長時代には、私は10年間副会長としてご指導を受けてきた。今、往時を回想して万感胸に迫り堪えられない悲しみで一杯である。

6月12日から14日まで、われわれは例年の如く西多摩歯科医師会のご協力で、東京都の僻地である西多摩の小河内小・中学校、日原小学校の児童生徒に対する保健指導と無料診療に従事していた。14日午前10時頃われわれが日原小学校で診療中、家内からの電話連絡により先生の訃報に接し、愕然として取り敢えず東京都学校保健会に連絡すると共に帰宅の用意をしたのであった。

亀沢先生は、昭和15年学校歯科医を嘱託されて以来34年間、児童生徒の健康保持増進のために努力されると共に、学校歯科医会及び学校保健会関係で数々の要職を歴任され、生前まで東京都学校歯科医会名誉会長、東京都学校保健会会長、日本学校歯科医会副会長、日本学校保健会常任理事、文部省保健体育審議会委員等として精力的に活躍し、それぞれの組織的な発展に多大の貢献をした。先生の傑出していたところは、保健活動を身をもって実践し、指導者として優れた指導力と政治的才能をもっていたことであろう。東京都学校歯科医会会長として10年間の在任中、特別区は勿論のこと、困難な多摩地区の学校歯科医会を殆ど東京都学校歯科医会に加盟させたその手腕力量は、見事なものであった。現在の東京都学校歯科医会が、隆盛になりつつある基礎を作られたのは先生であった。学校歯科医の待遇改善を成功させたのも先生であったし、東京都学校歯科医大会開催を計画し、その実現をさせたのも先生の力であった。

偉大な体軀とその説得力を、女性独得のムード

でカバーして、男性に出来得ないことを平然とやってのける度胸は驚胆にあたいするものがあつた。

東京都には多数の離島があるが、その殆どが無歯科医の島である。亀沢先生は、これらの島の歯科医療に恵まれない児童生徒のために、保健指導を兼ねた無料歯科診療団を組織して、八丈島、新島、式根島等を巡廻診療をして島の子供や先生達に喜ばれた。

当時の新島の子供達は、手足が骨折し易く、歯牙も柔かです蝕に罹患し易い状態であつたが、食生活の改善によって、現在では骨折し易い者もなくなり、歯牙も堅くなり、従つて蝕の罹患者も減少してきた。これは、島の教育長と診療団との懇談の結果、給食制度の採用がきまつたからであつて、亀沢先生の説得の結果であつた。

現在、離島は若者の天国である。夏期には島の人口は2倍にも3倍にも膨張して、民宿による島の経済力の発展はみる可きものがあるようだが、我々が新島を訪れた頃は、季節も異つていたが、島はあまり豊ではなかつたようだ。我々が体験した離島診療の往復はあまり楽なものではなかつた。ある時は、新島を目の前にしながら暴風に遭遇、黒潮丸は何度も波間にのまれ、我々一行を待ち付けていた新島の島民は、船は沈没したのではないかと何度も思ったそう。我々は左舷から右舷へ、右舷から左舷に芋のごとく船室内を駆け廻らされた。帰途にも時化にあつたことがある。亀沢先生はもう胃に何もなくなり、ついに胃液に血液がまざつて出る苦しみに耐えていた。しかし、その反対に島の子供達の口腔歯の健康状態は見違えるほど良くなり、「良い歯の学校」として日本学校歯科医会から表彰を受けた学校も出現したことは、診療団全体の喜びであつた。

亀沢先生は永年にわたり東京都及び全国の各種団体の役員として、会の発展と全員の指導に献身的な活躍をされ学校保健の普及向上に寄与した功績はきわめて顕著であつた。先生に最も関係の深い4団体即ち、東京都学校保健会、日本学校歯科医会、東京都学校歯科医会、荒川区歯科医師会は、去る7月20日午後1時より東京都の歯科医師会館ホールで合同葬を営み先生の功におこたえすることにした。当日のホールは、全国各地からの学校保健関係者の生花及び内閣閣僚からの生花で飾られ式は厳に行われた。式場で生前の功により正五位勲三等瑞宝章の伝達が行われたが、劇的シーンであつた。焼香は3時過まで続いた。功なり名とげた亀沢先生、安らかに眠られよ。

学校保健活動の推進に**カワイ**のビタミンAD剤

カワイ肝油ドロッツ



製造発売元

河合製薬株式会社

東京都中野区新井2丁目51-8

保健会だより—(7)

青森県学校保健会の活動

1 組織

(1) 役職員

- ア 会長 小野定男 (医師)
- イ 副会長 7名
- ウ 理事長 1名 (県教委保健体育課長)
- エ 理事 22名
- オ 事務局長 1名 (県教委保健体育課主任指導主事)
- カ 専任職員 2名

(2) 構成

- ア 郡市学校保健会(10郡市)——会費を県へ納入
- イ 専門部会 (学医・学歯・学薬・保主・養教)

2 主な事業

(1) へき地保健活動の推進

- ア ヘルスカーの運営
へき地2級地～5級地の学校に勤務する教職員及び家族と分校の児童生徒の健康診断を行なっている。

◎ 健康診断の内容

- 内科検診 (聴打診、血圧検査、X線間接心電図検査、尿検査)

48年度の実績 114校 (589名)

イ 歯科巡回診療

へき地学校児童生徒の初期ムシ歯の治療及び乳歯の抜去を行なう。

昭和48年度の実績 51校 (2,812名)
治療費無料

ウ 皮ふ疾患検診

へき地学校児童生徒の皮ふ疾患対策として専門医による検診と事後指導を行なう。

昭和48年度の実績 1村6校 (938名)

(2) 研修活動の充実 (昭和49年度予定事業)

- ア 保健主事研修会の開催
- イ 保健主事研究大会開催

- ウ 養護教諭研修会の開催
- エ 養護教員研究大会の開催
- オ 第28回青森県学校保健大会の開催
- カ 健康教育研究集会の開催
- キ 健康優良学校の表彰
- ク 健康優良児童生徒の表彰
- ケ よい歯の学校表彰
- コ よい歯の児童表彰
- サ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師合同研修会の開催

県教委
と共催

(3) 学校保健資料の収集

- ア 学校保健年報の作成
昭和48年度版(11号) B 5版、120頁、1,200部
この年報を研究会報等の携行資料として義務づけ活用を図っている。
- イ 学校保健会要覧の作成
昭和48年度版 B 5版 50頁 100部

(4) 物品斡旋事業

会費 (児童生徒1人当り1円) 及び県費による運営費補助(22万円)が主な財源であるため、物品斡旋事業を強力にすすめる。

その主なものは次のとおりである。

- 健康手帳 (わたしの健康) の斡旋
- 交通安全副読本の斡旋
- 健康診断票の斡旋

青森県学校保健会の歴史は古く、戦前における学校衛生の時代より組織的な活動を続けてきた。

特に、学校医、学校歯科医の諸先生がたが、保健活動推進のため献身的な努力をばらわれ今日に発展したのである。

戦後の昭和24年に、青森県学校保健会として新らしくスタートし県の学校保健行政に寄与してきた。

特に前会長の渡辺金次郎先生 (故人) は県教育委員会の教育委員の立場にあったため、県学校保健会と保健体育課の連携が極めてスムーズに行なわれ、数々の事業が軌道に乗ったのである。

その後、現会長の小野定男先生は、非常に意欲的な会の運営をなさり、特に市町村単位の学校保健会づくりを強調され、昭和49年4月現在で23市町村に学校保健会が誕生し、それぞれ主体的に事業計画をたてて学校保健活動を推進している。

(事務局長 古川兼雄)

偏食児の栄養補給、虚弱体質に

パンビタンペレ

パンビタンペレ チョコレート



幼小児の発育期・病中病後・発熱性消耗性疾患・食欲不振・栄養障害などの栄養補給、滋養強壮に。